

資料④ 計画の考え方

- 国の文化芸術推進基本計画では、文化芸術に、人間性を涵養する「本質的な価値」だけでなく、共感を通じて人と人をつなぐ「社会的価値」、新たな需要・付加価値を生み出す「経済的価値」など多様な価値があると規定しています。
- 町田市では、これらの価値を「文化芸術の持つチカラ」として捉え、市民がそうした文化芸術のチカラを活かし、暮らしを彩ることができるまちづくりを目指します。

町田市の文化芸術推進の目標

文化芸術には様々な「チカラ」がある

文化芸術には、「人間が人間らしく生きるため糧となる」の本質的な価値、「他者と共感しあい、地域社会・人類社会を発展させる」社会的な価値、「新たな需要や高い付加価値を生み出す」経済的な価値がある。こうした文化芸術の価値（＝チカラ）を増進し、文化芸術のみならず社会・経済全体の発展に結びつけ、それをさらに文化芸術の成長に繋げていく好循環を生み出すことが文化芸術推進行政の目標となる（文化庁「第2期文化芸術推進基本計画」より。一部表現を変更）

人をつなぐ「チカラ」

文化芸術の社会的価値

- ・コミュニティづくり
- ・街への愛着づくり
- ・共生社会の進展 etc.

元気にする「チカラ」

文化芸術の本質的価値

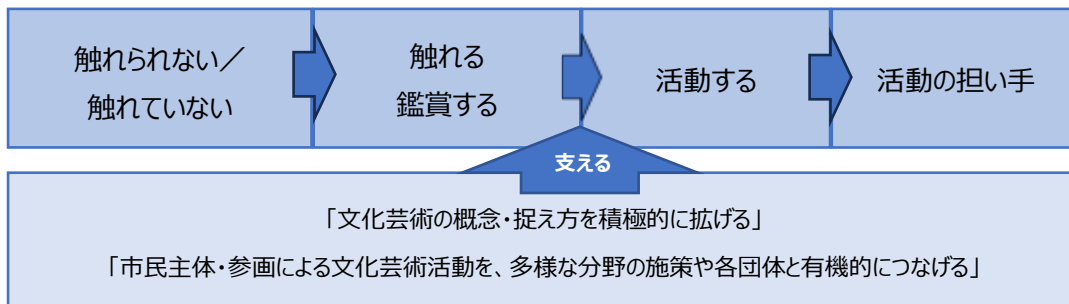
- ・創造力、感性を育む
- ・アイデンティティを育む
- ・多様性を尊重する etc.

創造する「チカラ」

文化芸術の経済的価値

- ・街のにぎわいづくり
- ・新たな仕事づくり
- ・町田のブランド強化 etc.

誰にでも機会がある



町田市の文化芸術推進が目指す姿

文化芸術の「チカラ」で市民の暮らしが彩られるまちづくり

- ・子どもでも、障がい者でも、外国人でも、被介護者でも、誰でも、多様な文化芸術のチカラに触れられるまちづくり
- ・文化芸術のチカラで、様々な個性を持つ人々と共感しあい、つながりあい、町田が一番と感ずることができるまちづくり
- ・文化芸術のチカラが、にぎわいを作り、他に誇れる町田らしさを生み出し、新たな仕事を生んでいくまちづくり

- 具体的な推進のあり方としては、市民が文化芸術のそれぞれのチカラに触れ、活用できるようにする施策を展開し、文化芸術のチカラで「なんだかんだ」言っても住み続けたい、働きつづけたい町田を創っていきます（文化芸術に触れていない、触れる・鑑賞する、活動する、活動の担い手それぞれの市民が、興味を持った際に違うステージにチャレンジできることに加え、「つなぐチカラ」「創造するチカラ」を発揮できるように、市民がより深く文化芸術のチカラを活用できるように図っていきます）。
- 上記を踏まえ、市の文化芸術推進を担当する行政も、市民が多様な文化芸術に「触れられる」よう環境を整備するとともに、行政自体が、市内の他部局や市内の各主体と文化芸術のチカラに関して「つながり」、市の発展に結びつく新たな価値を「創造」していけるよう、施策立案・実施の体制をランクアップさせていきます。

町田市の文化芸術推進の展開イメージ

